

第二〇九回ペン川柳会

令和三年十月二十六日

お題 「命・命じる」

■ 西川 (酔雅)  
すいが

命じても耳が遠くて空回り  
卒サラ后命じる役は老妻に

■ 塚田 (拿々)  
ただ

飲み会の軽い言葉が命取り  
宮参り命輝く笑い顔

■ 八木 (明迷)  
めいめい

めでたきはあるか寿命と呼ぶ余生  
命令はパワハラ臭く指示とする

■ 稲宮 (井波)  
いなみ

マスクなし命生き生き喋りたい  
命の値保険の額で優良可

■ 三春 (火酒)  
ウオツカ

痛風にあん肝ビール命がけ  
Alexaも命に逆らうロクデナシ

■ 松谷 (零門)  
れいもん

長寿命延命策でさらに延び  
同意書で命を託し手術台

■ 曾山 (酩帝)  
めいてい

八十路では恋をするのも命がけ  
妻の命(めい)そむいた罰は座敷牢

■ 安藤 (晃二)

てるつぐ

命令の伝票銀座のはしご酒  
連呼するマイクが守る我が命

■ 大野 (だし)

俺の命預けた先が死刑囚  
我が命枯野を告げるその先は

■ 細谷 (損得)

そんどく

女房の命(めい)に逆らいハリストに  
たすき掛け衆院選挙は命懸け

■ 山縣 (安兵衛)

やすべえ

一二の三命令一(い)っか酒解禁  
男ならおかん命と云ってみな

世話人 塚田 實(拿々)

だだ